

社会資本総合整備計画

庁舎及び大貫駅周辺地区都市再生整備計画

平成28年12月22日

千葉県富津市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年12月22日

計画の名称	庁舎及び大貫駅周辺地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）					交付対象	富津市																											
計画の目標	富津市第3次基本計画において重点課題として位置づけられた安全・安心なまちづくりを推進するために、生活環境基盤の強化および利用しやすい公共施設づくりを整備する。																																	
計画の成果目標（定量的指標）	庁舎および大貫駅周辺地区での道路の整備および大貫駅駐輪場整備による利用者の満足度向上、および大貫駅地下歩道の通行者数の増加を図る。																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路の整備に対する満足度 安全・安心な生活環境づくりとして、道路の新設及び改良を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。 4段階評価（4，2，-2，-4）のボーダー（中間点：0）を目標にする。</td> <td>-0.42</td> <td>-</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大貫駅地下歩道の1日の通行者数 利用し易い公共施設として、地下歩道の改修により増加した通行者数を計測する。従前値の1割増加を目標にする。</td> <td>904</td> <td>-</td> <td>990</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大貫駅駐輪場の利用者の満足度 利用し易い公共施設として、駐輪場の設備等の整備を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。</td> <td>-0.81</td> <td>-</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	道路の整備に対する満足度 安全・安心な生活環境づくりとして、道路の新設及び改良を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。 4段階評価（4，2，-2，-4）のボーダー（中間点：0）を目標にする。	-0.42	-	0		大貫駅地下歩道の1日の通行者数 利用し易い公共施設として、地下歩道の改修により増加した通行者数を計測する。従前値の1割増加を目標にする。	904	-	990		大貫駅駐輪場の利用者の満足度 利用し易い公共施設として、駐輪場の設備等の整備を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。	-0.81	-	0	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)																															
道路の整備に対する満足度 安全・安心な生活環境づくりとして、道路の新設及び改良を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。 4段階評価（4，2，-2，-4）のボーダー（中間点：0）を目標にする。	-0.42	-	0																															
大貫駅地下歩道の1日の通行者数 利用し易い公共施設として、地下歩道の改修により増加した通行者数を計測する。従前値の1割増加を目標にする。	904	-	990																															
大貫駅駐輪場の利用者の満足度 利用し易い公共施設として、駐輪場の設備等の整備を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。	-0.81	-	0																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	705百万円	A	705百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																						
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H24	H25	H26	H27	H28																					
A-1	都市再生	一般	富津市	直接	富津市	庁舎及び大貫駅周辺地区	1,304ha	富津市						705	-																			
									合計					705	-																			
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H24	H25	H26	H27	H28																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H24	H25	H26	H27	H28																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						

交付金の執行状況

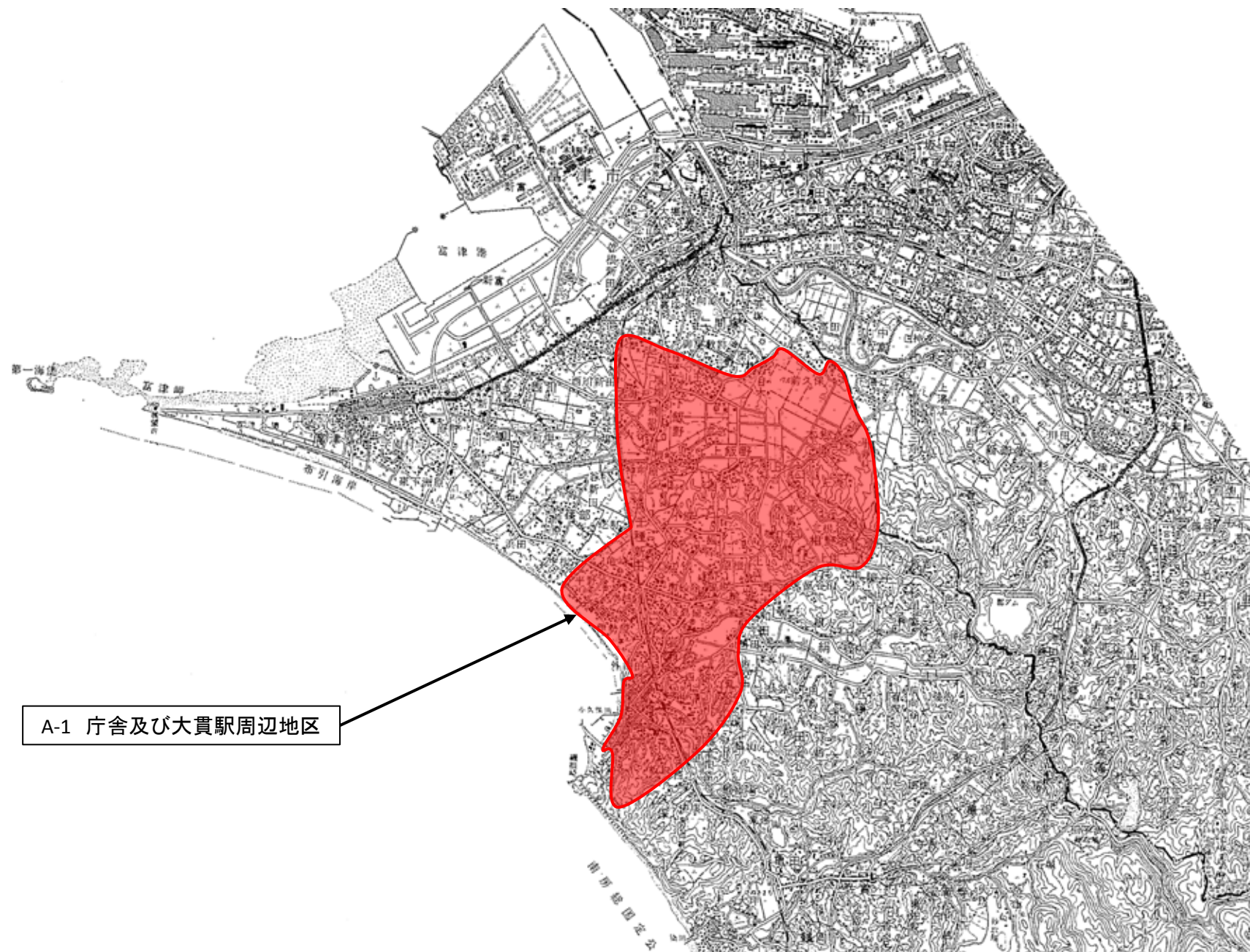
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	83.805	90.500			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	83.805	90.500			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	83.805	90.500			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	庁舎及び大貫駅周辺地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)	交付対象	富津市



社会資本総合整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ちょうしゃ およ おおぬきえき しゅうへん ちく とし さいせい せいび けいかく ちば けんふつ し
庁舎及び大貫駅周辺地区都市再生整備計画 (千葉県富津市)

(参考) 年次計画

(事業費: 百万円)

基幹事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
庁舎及び大貫駅周辺地区	富津市	富津市	705.0	53.1	136.2	207.3	211.9	96.5
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			705	53.1	136.2	207.3	211.9	96.5
関連社会資本整備事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効果促進事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			705.0	53.1	136.2	207.3	211.9	96.5
累計進捗率 (%)				7.5%	26.9%	56.3%	86.3%	100.0%

都市再生整備計画(第3回変更)

ちょうしゃおよ おおぬきえきしゅうへん ちく
庁舎及び大貫駅周辺地区

ちばけん ふつつし
千葉県 富津市

平成28年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	富津市	地区名	ちようしやおよ おおめきえきしゆうへんち く 庁舎及び大貫駅周辺地区	面積	1,304 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標

- 大目標: 安全と安心を実感できるまちづくり
 目標1 安全・安心な生活環境基盤づくり
 目標2 利用し易い公共施設づくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・富津市は、昭和46年4月25日の3町合併により「富津町」となり、その後市制施行により昭和46年9月1日に「富津市」となった。そして、まちづくりの基礎となる都市計画も旧3町の個々の形態を維持し、旧富津町は線引き都市計画、旧大佐和町を非線引き都市計画、そして旧天羽町を都市計画区域外とし、南北に長い市域の中で複数の都市計画が混在している。

・そうした中でこれまで市では、旧まちづくり交付金制度の施行以降、これら都市計画区域に対してまちづくり交付金の活用を検討し実践してきた。市内に6駅あるうち、線引き都市計画区域に属するJR内房線青堀駅を中心とした区域を設定し、平成18年度から平成22年度までの5ヶ年で整備計画を立て事業を進めた。遅れていた都市計画道路等の整備を促進し市内の幹線道路網のネットワークを確立、地域資源の有効活用と保全として古墳群についても整備を図った。そして今後は、市の第3次基本計画でも引き続き駅周辺市街地の整備を位置付けており、大佐和都市計画区域に位置するJR内房線大貫駅とその周辺の道路を含めた区域の整備への機運が高まっている。

・今回の区域の大部分は大佐和都市計画区域に属するが、非線引き都市計画であり住宅が点在し、土地区画整理事業も無いため整形された道路も少ない。平成13年に策定した「富津市幹線道路網計画」では、当該区域の中央部に幹線2号とする市の南北を結ぶ路線の位置付けがあるが整備が進んでいない。このように、地域の特性によって生じている問題と合わせて、広域的な幹線道路網の整備も進めていきたい。

・一方、平成25年4月1日には、市役所庁舎の隣に消防本部が富津出張所との統合に合わせて移転するため、今後の緊急車両の移動ルートの見直しを行っている。これについては、前述後段の幹線2号の整備が緊急車両の交通の円滑化に寄与するものとする。同時に、広範囲におよび迅速な救急活動を実施するため、本郷地区方面へのルート整備や、各地区の消防救急活動等の困難区域の整備を進める。

・当該区域中央部に位置するJR内房線大貫駅は、市内全6駅のうち、2番目に利用者が多い駅であり、駅周辺の公共施設に対し、安全性の危惧や防犯対策の強化についての要望が多く、利用者の目線に立った施設改修が急務である。

課題

・区域内の道路網整備については、歩行者等の安全対策として歩道設置や交通円滑化のための交差点改良等が必要である。

・消防防災センター移転に伴い、緊急車両が円滑に活動できる道路環境が必須であることから、交通円滑化に資する路線整備や活動困難地域の解消が必要である。

・大貫駅周辺の施設整備については、利用者への安全性及び利便性への配慮から、駐輪場の利便性向上と地下歩道及び東口駅前広場の安全な空間づくりが必要である。

将来ビジョン(中長期)

・富津市都市計画マスタープラン(平成10年3月策定)においては、「固有の地域風土の中に、新たな生活文化と地域活力が生まれるまち」を将来像に、土地利用の適正な誘導及び固有の緑地資源、臨海部の海浜緑地の保全を図る地域振興を目指すとしている。

・第3次基本計画での重点課題の1つである、「安全・安心なまちづくり」については、自然災害への対応や施設の耐震化を念頭に置き、安全で安心して暮らせる地域環境づくりを整備するとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
道路の満足度	点	道路の整備に対する満足度	安全・安心な生活環境づくりとして、道路の新設及び改良を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。4段階評価(4, 2, -2, -4)のボーダー(中間点:0)を目標にする。	-0.42	平成21年度	0	平成28年度
地下歩道の通行者数	人	大貫駅地下歩道の1日の通行者数	利用し易い公共施設として、地下歩道の改修により増加した通行者数を計測する。従前値の1割増加を目標にする。	904	平成23年度	990	平成28年度
駐輪場の満足度	点	大貫駅駐輪場の利用者の満足度	利用し易い公共施設として、駐輪場の設備等の整備を実施したことに対する、整備後の満足度を計測する。4段階評価(4, 2, -2, -4)のボーダー(中間点:0)を目標にする。	-0.81	平成23年度	0	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(市民の生活環境基盤の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者及び自転車利用者の安全性を確保するための路線整備を行う。 緊急車両等の迅速な活動を可能にするため、交通処理上の問題を抱える路線を整備する。 照明の不足やバス停ベンチの破損等による安全性及び利便性の低下を防止するため、大貫駅東口駅前広場の整備を行う。 	<p>道路(基幹事業)</p>
<p>整備方針2(利用者の目線に立った整備による利便性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝夕問わず安心して通行ができ、湧水による転倒の危険性を防止するため、大貫駅地下歩道の整備を行う。 盗難防止及び降雨時にも利用ができるように、大貫駅駐輪場の整備を行う。 	<p>道路(大貫駅地下歩道)(基幹事業)、地域生活基盤施設(大貫駅駐輪場)(基幹事業)、地域創造支援事業(地下歩道防犯対策、落書き防止対策)(提案)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付期間中の円滑な事業推進と、目標に向けた効果を上げるため、各事業の横断的な協議・調整を図るとともに、進捗状況を検証し事業計画の適切な管理に努める。 	

都市再生整備計画の区域

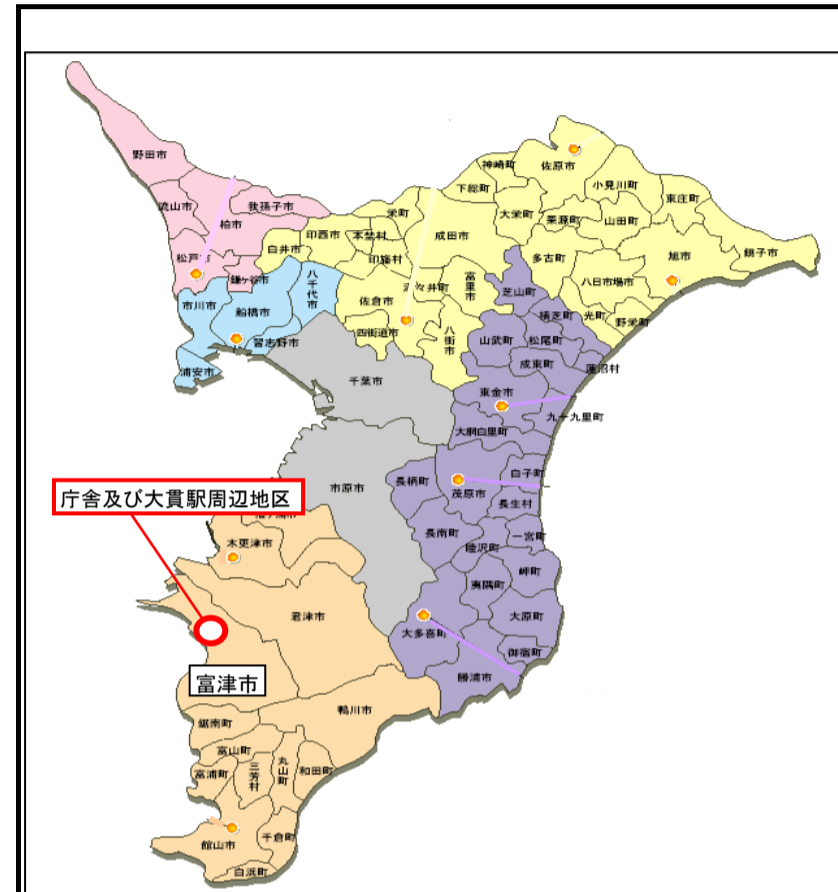
庁舎及び大貫駅周辺地区(千葉県富津市)

面積








1,304 ha

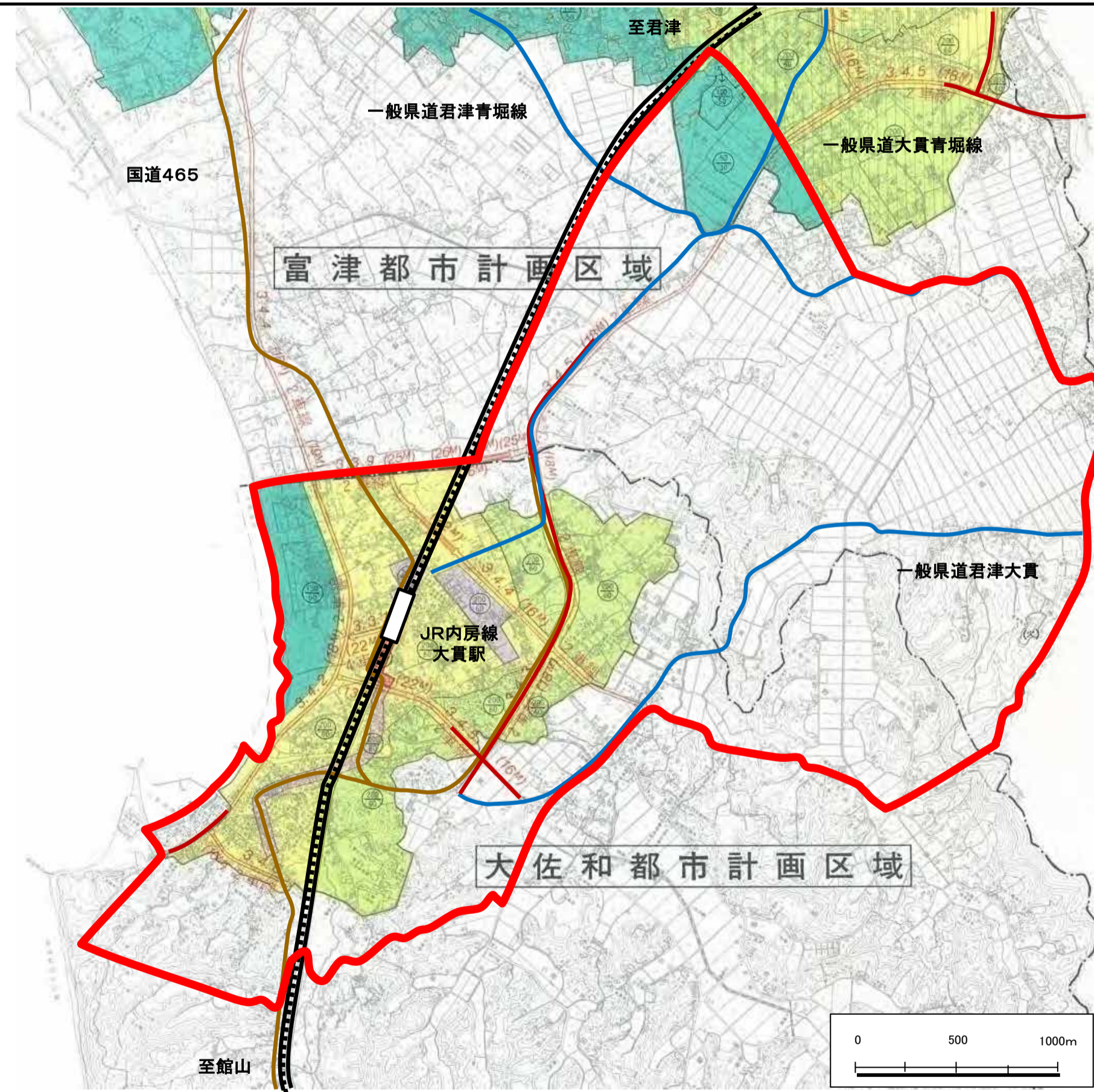
区域

富津市本郷、前久保、岩瀬、千種新田の全部と篠部、上飯野、下飯野、二間塚、小久保、西大和田、相野谷、中の各一部



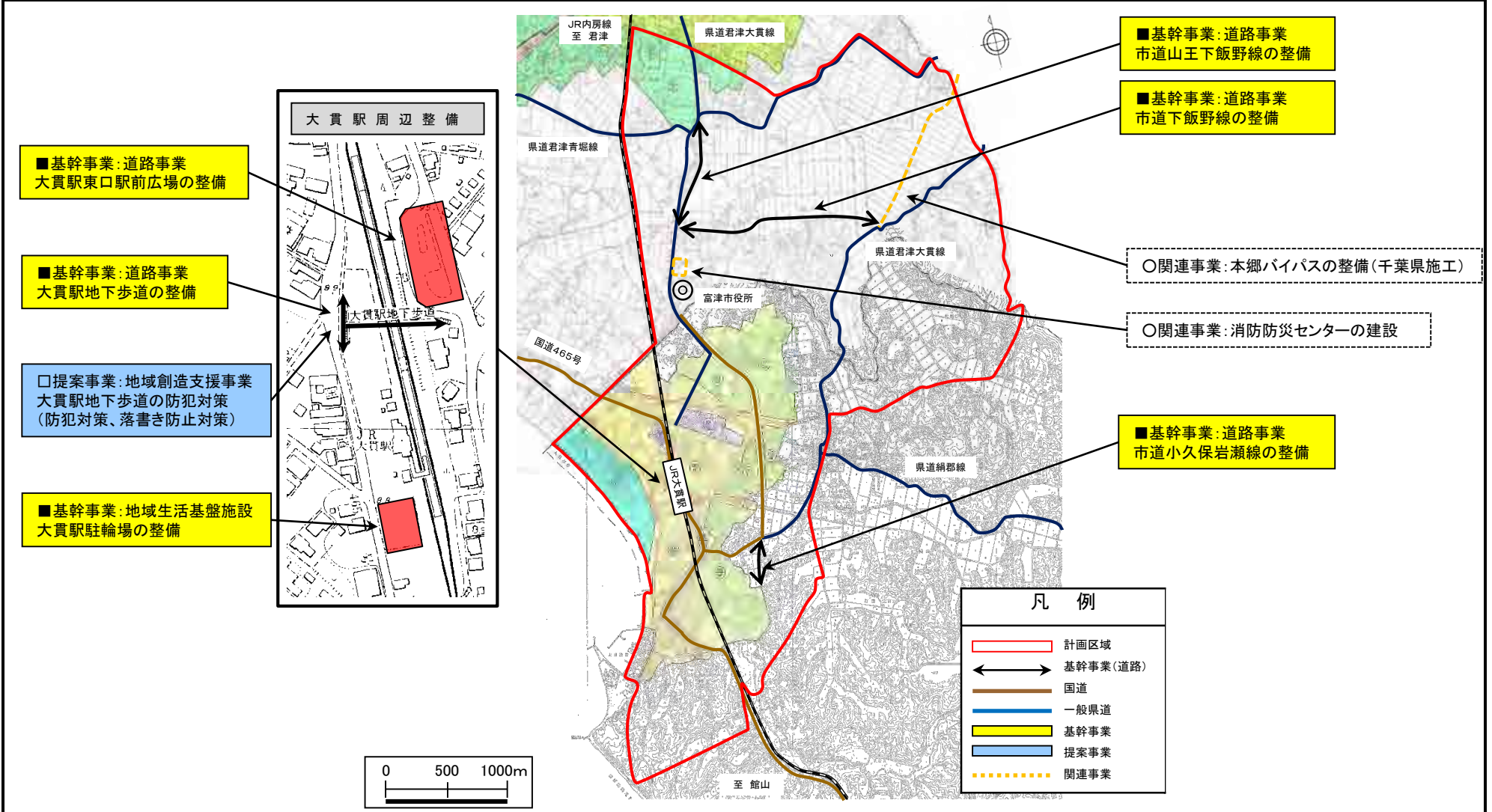
凡 例

-  計画区域
-  国道
-  一般県道
-  鉄道(JR内房線)
-  都市計画道路(整備済み)
-  都市計画道路(施工中)
-  都市計画道路(未整備)



庁舎及び大貫駅周辺地区(千葉県富津市) 整備方針概要図

目標	安全と安心を実感できるまちづくり	代表的な指標	道路の満足度 (点)	-0.42	(21年度)	→	0	(28年度)
			地下歩道の通行者数 (人)	904	(23年度)	→	990	(28年度)
			駐輪場の満足度 (点)	-0.81	(23年度)	→	0	(28年度)



都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ちょうしゃおよ 庁舎及び おぬきえきしゅうへんちく 大貫駅周辺地区 ちばけん (ふつつし 千葉県富津市)

庁舎及び大貫駅周辺地区(千葉県富津市)現況図

○市道山王下飯野線

- ・歩道設置がされていない区間があり通行が非常に危険。
- ・変則交差点が重なり渋滞が発生している。



○大貫駅地下歩道

- ・内部から湧水が発生し、通路内が滑り易くなっている。
- ・照明が暗く、落書きも多く安心して通行ができない。



○大貫駅駐輪場

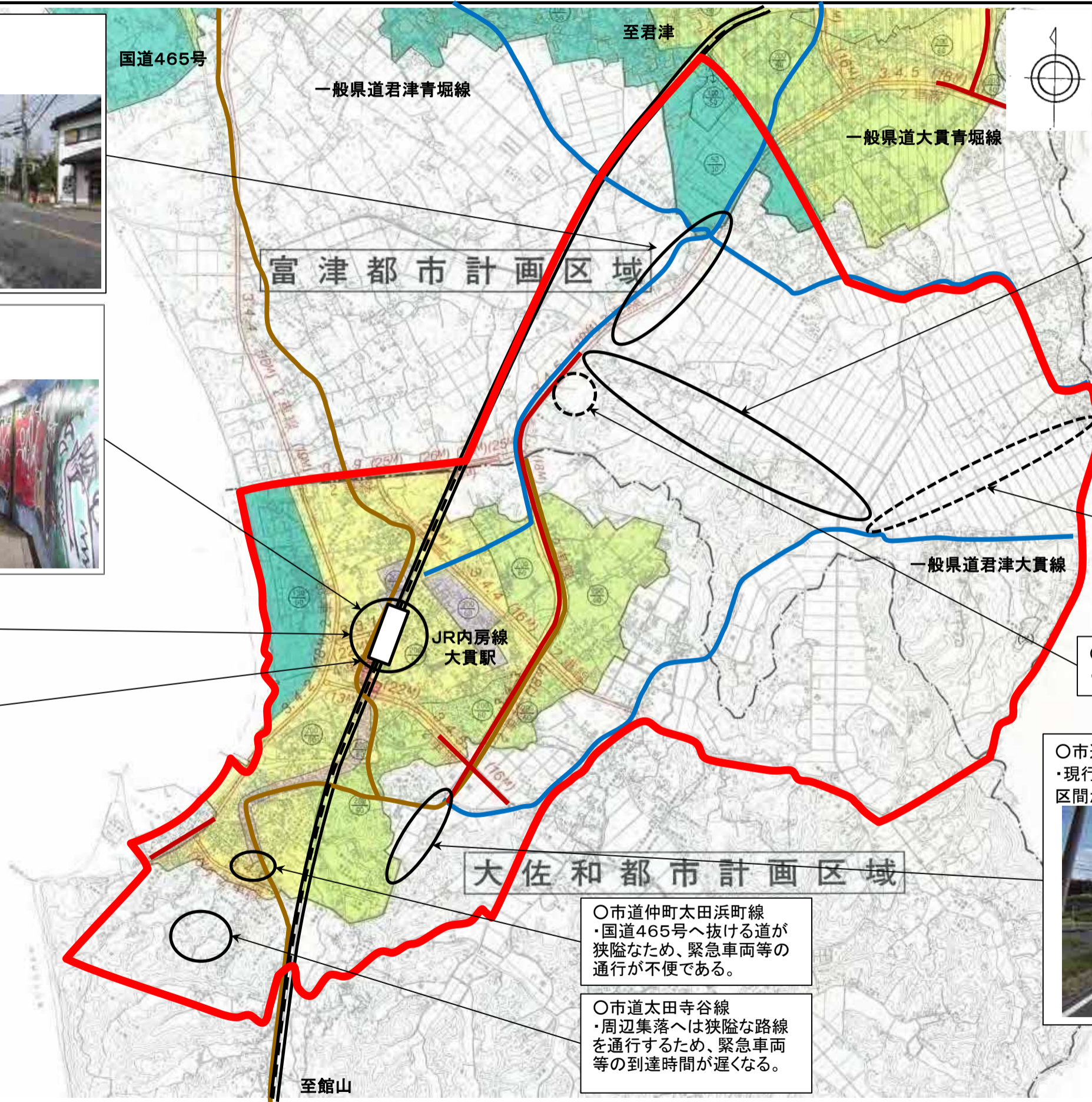
- ・雨天時の利用の不便さや車両の盗難が発生している。

○大貫駅東口駅前広場

- ・照明が暗く、バス停ベンチが破損している。

凡 例

- 計画区域
- 国道
- 一般県道
- 鉄道(JR内房線)
- 整備済路線



○市道下飯野線

- ・幅員が狭く車両同士のすれ違いが困難。



○本郷バイパス

- ・千葉県によって施工中。

○富津市消防防災センター

- ・平成25年4月に開署。

○市道小久保岩瀬線

- ・現行ルートは信号処理がされていない区間があり事故が多発。



- 市道仲町太田浜町線
・国道465号へ抜ける道が狭いため、緊急車両等の通行が不便である。

- 市道太田寺谷線
・周辺集落へは狭い路線を通行するため、緊急車両等の到達時間が遅くなる。

交付限度額算定表(その1)

庁舎及び大貫駅周辺地区(千葉県富津市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	282.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	453,400.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	282.0 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	---------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	5,216,000 m ²
-----------	--------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	13,040,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

Cl	172,300 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	2
公示価格の平均値(円/m ²)	13,900

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	702.0 百万円
	提案事業(B)	3.0 百万円
	合計	705.0 百万円

Ap	572,881 m ²
-----------	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	554,474	0.04
公園	9,732	0
広場	8,675	0
緑地	-	-
公共施設合計	572,881	0.04

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	453,400 百万円
----------------------	-------------

ΣCn	0 円
------------	-----

下水道	0 円
区域面積(m ²)	13,040,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	393,900

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	
	一般	
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円	
大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	453,400 百万円
---------------------	-------------

[1]式	a 1=4(A+B)/5=	564
[2]式	a 2=10A/9=	780
交付限度額(X)		282.0 百万円

- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

庁舎及び大貫駅周辺地区 (千葉県富津市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	702.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	282.000	① (国費)
	提案事業合計(B)	3.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	390.000	② (国費)
	合計(A+B)	705.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	282.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.005		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	282.000	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正 の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	282.000	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	282.000	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	282.000	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける 場合	計画の認定等の年度末までの執行 事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費 (A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の 執行业業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓
拡充も考慮した交付限度額 282.000 ⑯ (国費)

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	705.0	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	282.0	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

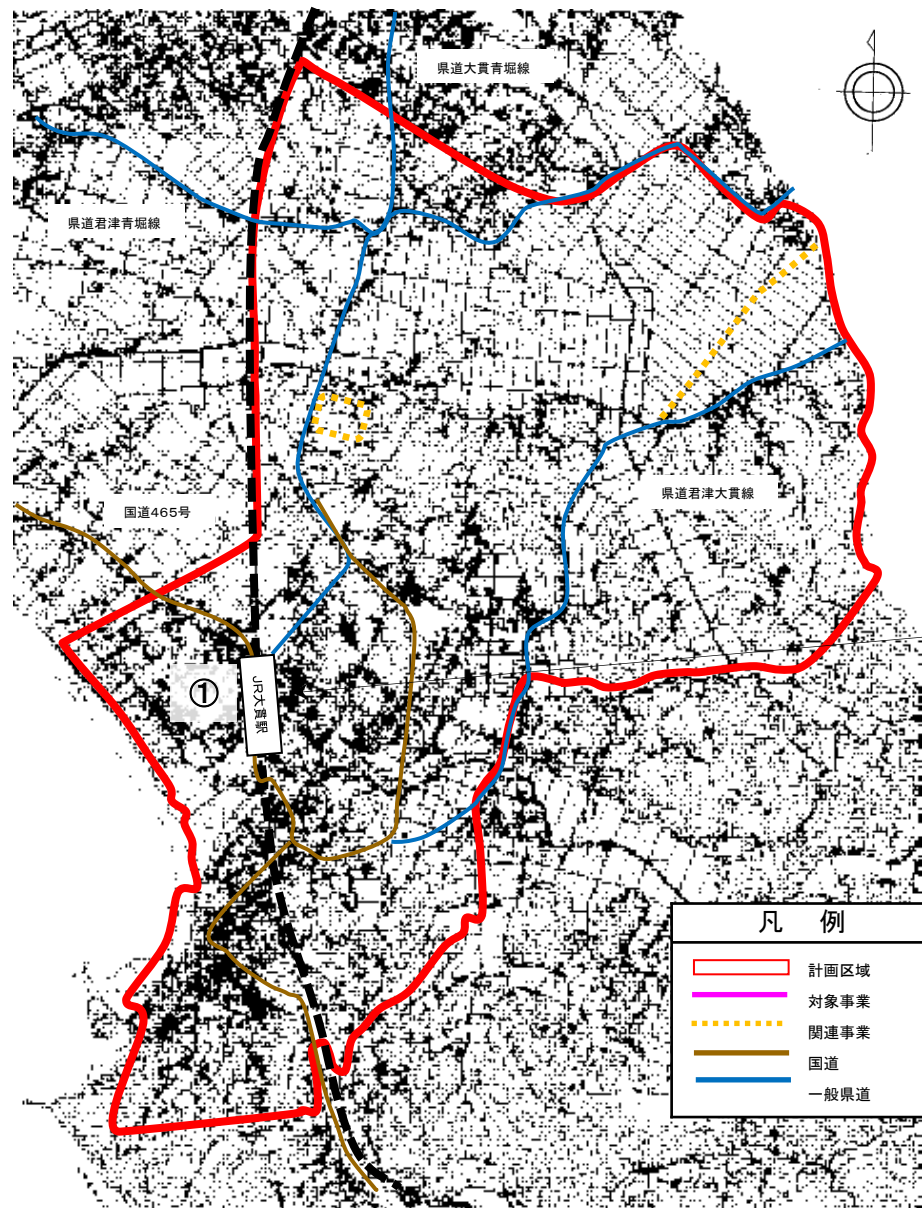
(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業	細項目								
道路		市道山王下飯野線	富津市	271.9	14.4	27.9	135.6	50.0	44.0
		市道下飯野線	富津市	273.7	15.8	25.8	27.7	161.9	42.5
		市道小久保岩瀬線	富津市	42.6	13.9	28.6	0.1		
		大貫駅地下歩道整備	富津市	51.3	5.0	5.4	40.9		
		大貫駅東口駅前広場整備	富津市	24.3	2.3	12.0			10.0
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		大貫駅駐輪場	富津市	38.2	1.7	36.5			
高質空間形成施設									
高次都市施設									
中心拠点誘導施設									
連携生活拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				702.0	53.1	136.2	204.3	211.9	96.5

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業	大貫駅地下歩道防犯対策	防犯対策、落書き防止対策	富津市	3.0			3.0		
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				3.0	0	0	3.000	0	0
合計				705.0	53.1	136.2	207.3	211.9	96.5
累計進捗率 (%)					7.5%	26.9%	56.3%	86.3%	100.0%

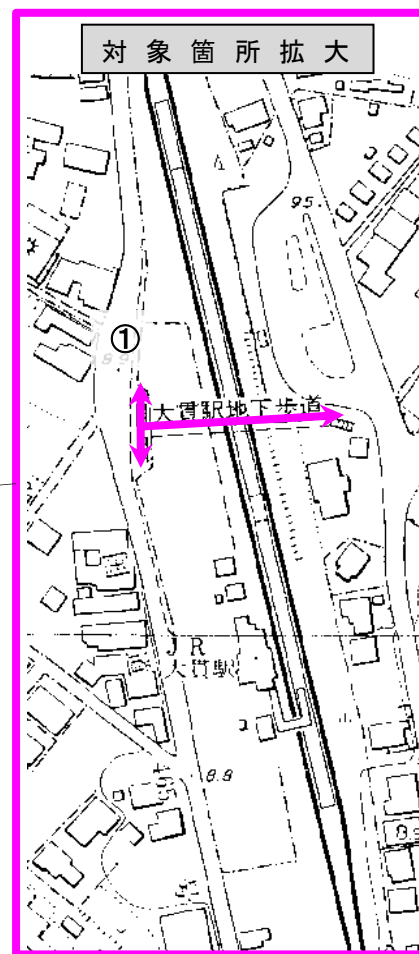
(参考)都市機能立地支援関連事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業	細項目								
合計				0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

地域創造支援事業箇所図



地域創造支援事業箇所

①大貫駅地下歩道防犯対策



道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備考 注4)
							整備前 m	整備 m							
<道路>															
市道山王下飯野線	下飯野～下飯野	地	市	-		1,300		12	2	2.5	271.9	H24～H28	道路改築工事		
市道下飯野線	下飯野～本郷	地	市	-		1,870		11.5	2	2.5	273.7	H24～H28	道路改築工事		
市道小久保岩瀬線	岩瀬～岩瀬	地	市	-		590		14.5	2	2.5	42.6	H24～H26	道路改築工事		
大貫駅地下歩道	千種新田～千種新田	地	市	-		96.3	2.5	2.5	1	-	51.3	H24～H26	地下歩道整備		
大貫駅東口駅前広場	千種新田～千種新田	地	市	-		2,000㎡	-	-	-	-	24.3	H24～H28	駅前広場改修		

(参考)

<関連事業>															
本郷バイパス整備	君津市下湯江～富津市上飯野	一	県	単		1,600		10	2	2.5	480	H22～H31	道路改築工事		
富津市消防防災センター(消防本部・消防署)造成工事	富津市下飯野	他	市	単		21,918㎡					145	H23～H23	造成工事		
富津市消防防災センター(消防本部・消防署)新築工事	富津市下飯野	他	市	単		3,400㎡					1,016	H24～H24	新築工事		

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

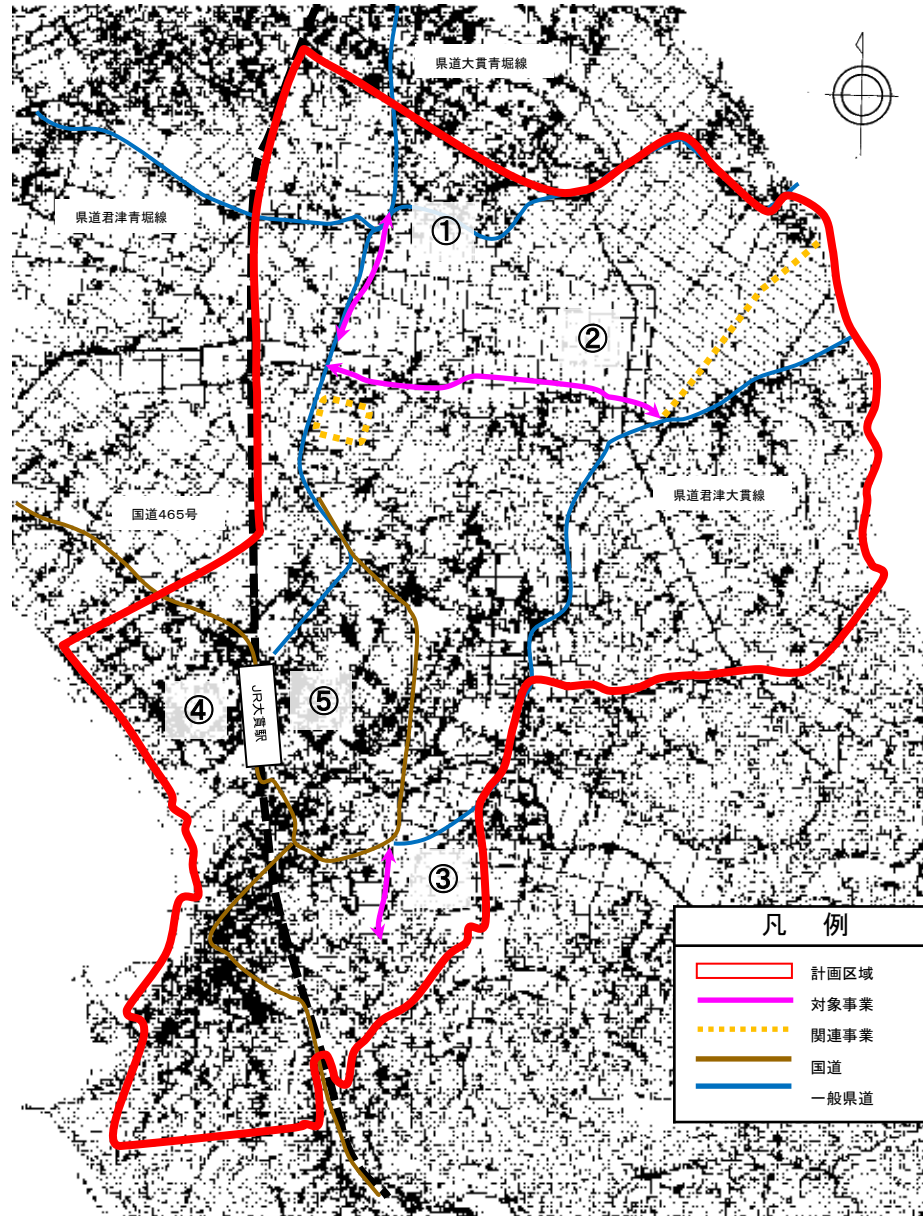
(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

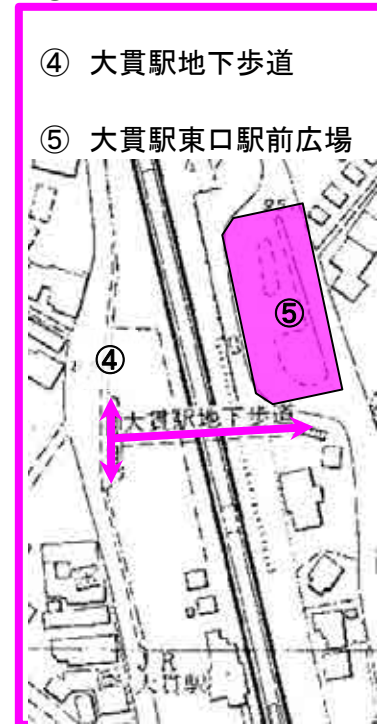
* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路事業箇所図



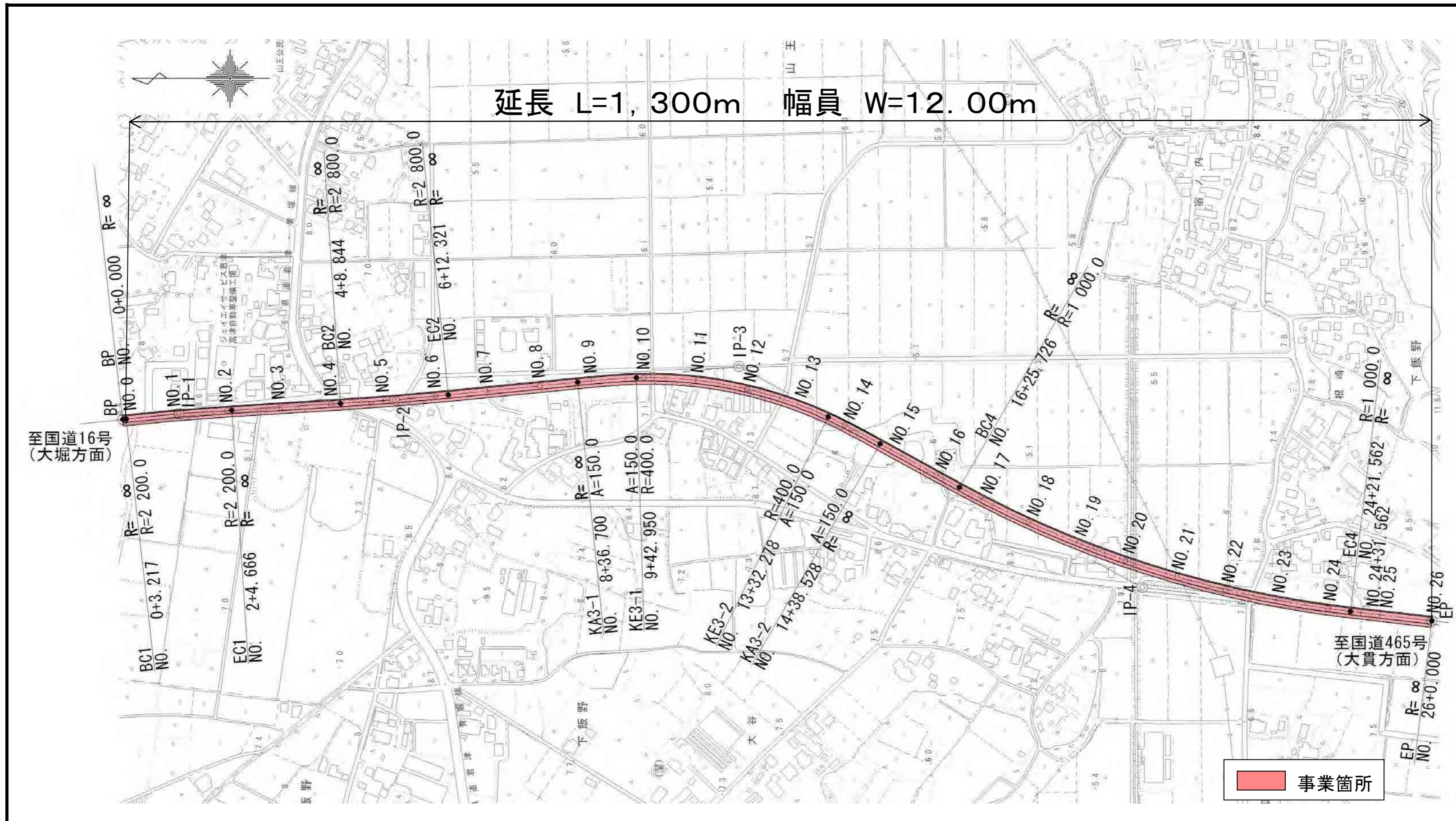
道路事業箇所

- ① 市道山王下飯野線
- ② 市道下飯野線
- ③ 市道小久保岩瀬線
- ④ 大貫駅地下歩道
- ⑤ 大貫駅東口駅前広場



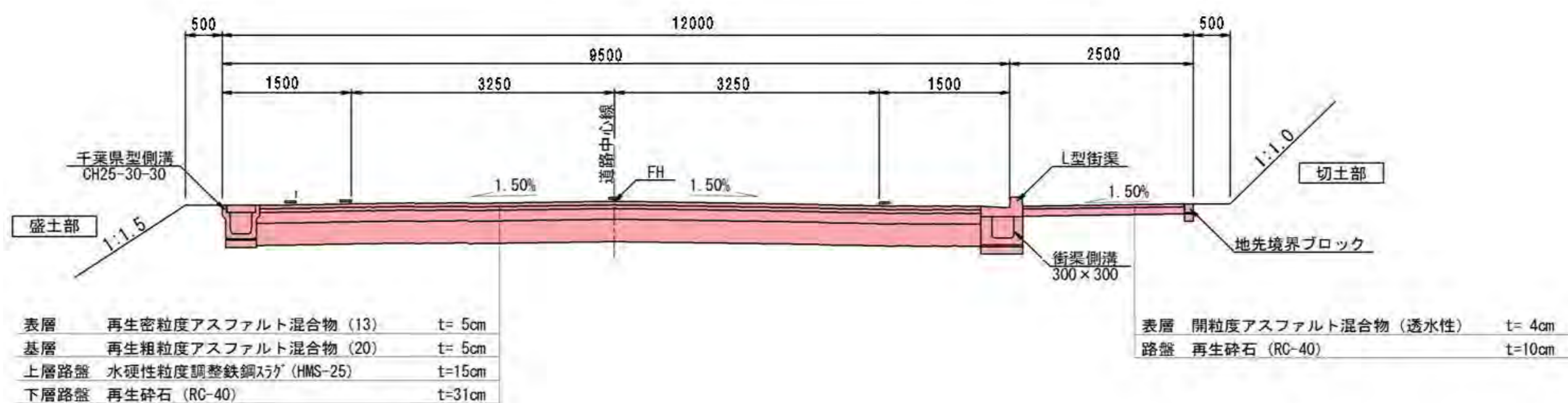
①市道山王下飯野線設計図(平面図)

S = 1/5, 000



①市道山王下飯野線設計図(標準断面図)

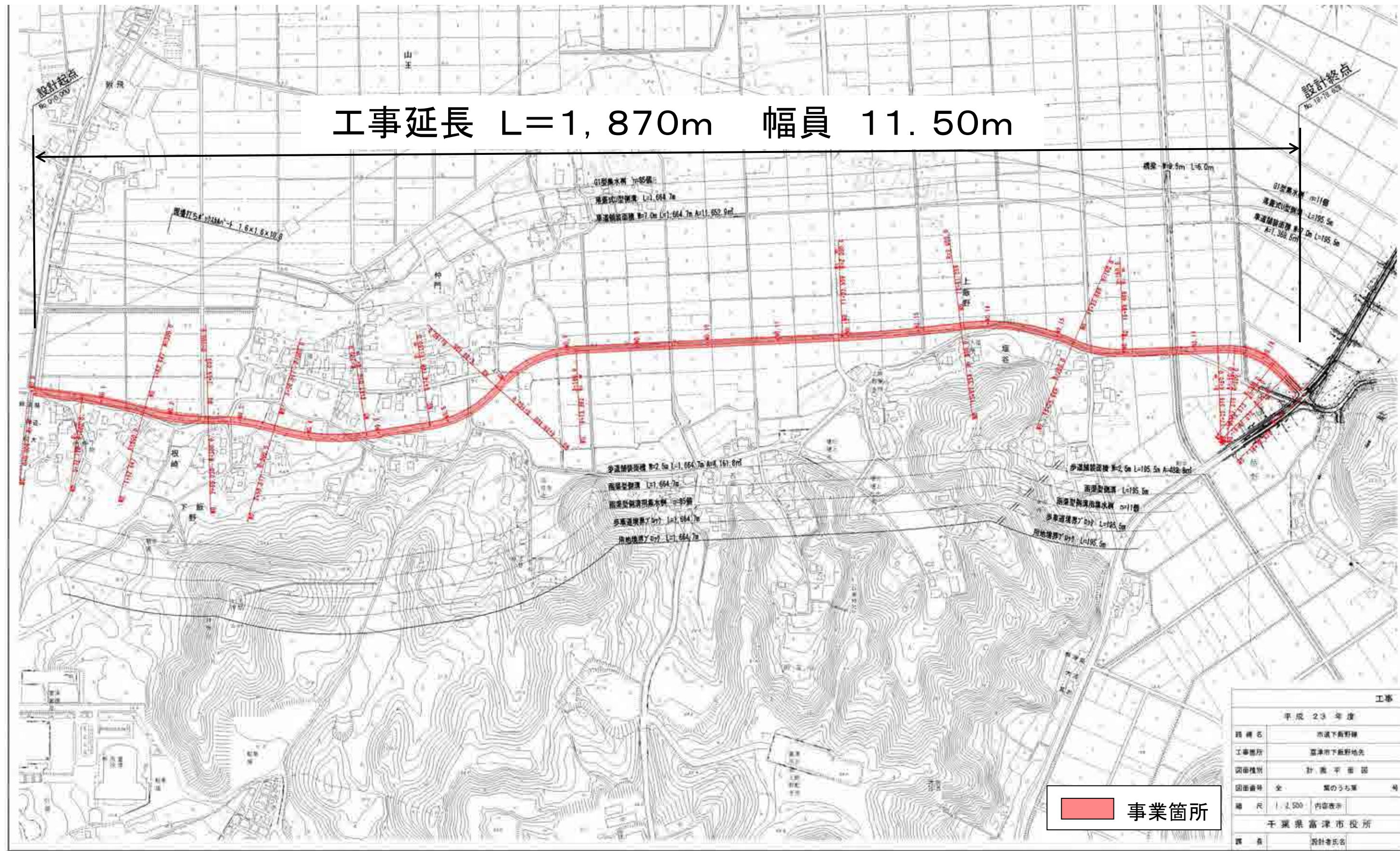
S = 1/100



■ 事業箇所

②市道下飯野線設計図(平面図)

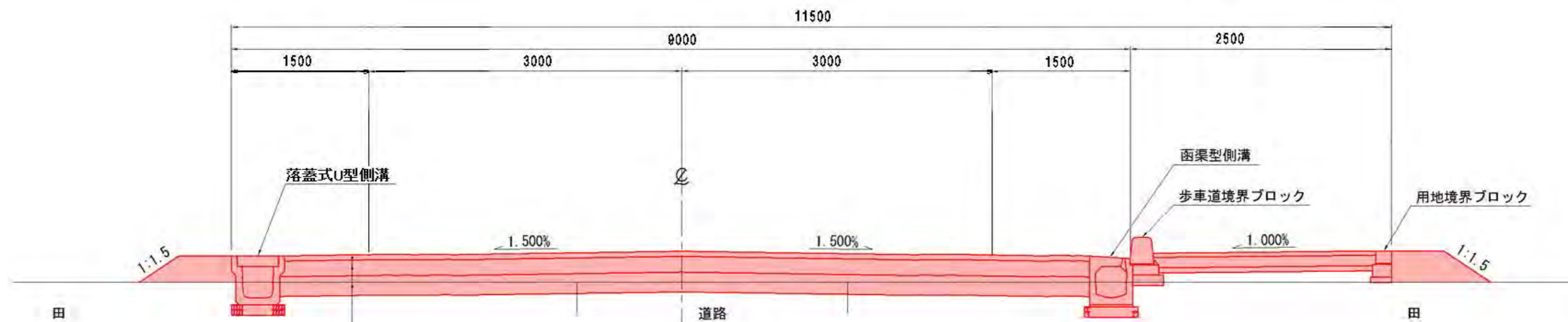
S = 1/10,000



工事	
平成 23 年度	
路線名	市道下飯野線
工事種別	富津市下飯野地区
図面種別	計画平面図
図面番号	全 案のうち第 号
縮尺	1:2,500 内部表示
千葉県富津市役所	
課長	設計者氏名

②市道下飯野線設計図(標準断面図)

S = 1/60



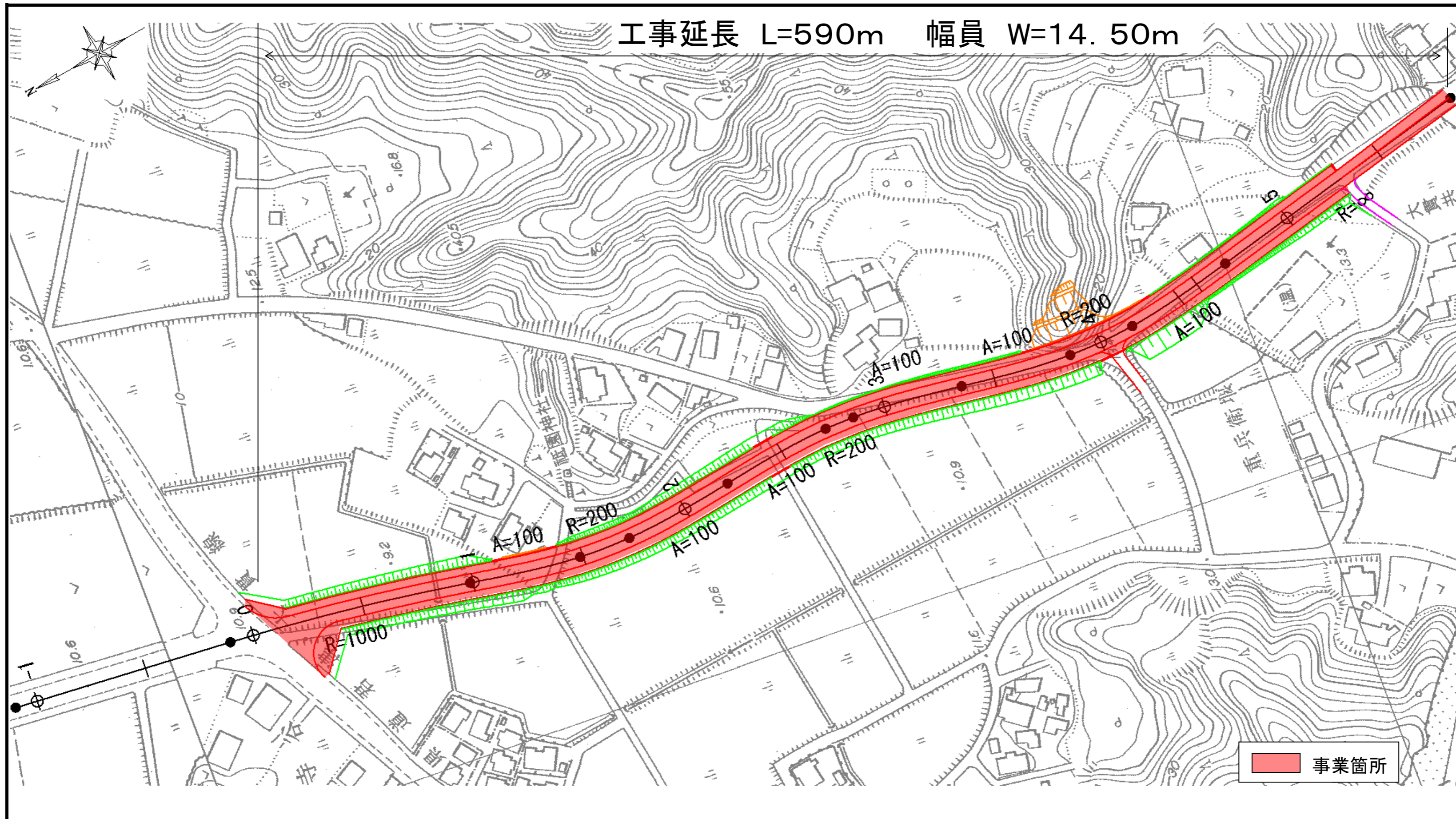
表層	: 7.5mm 珪砂混合物	t=5cm
上層路盤	: 粒調碎石 M-40	t=15cm
下層路盤	: 再生クラッシュ C-40	t=19cm

事業箇所

③市道小久保岩瀬線設計図(平面図)

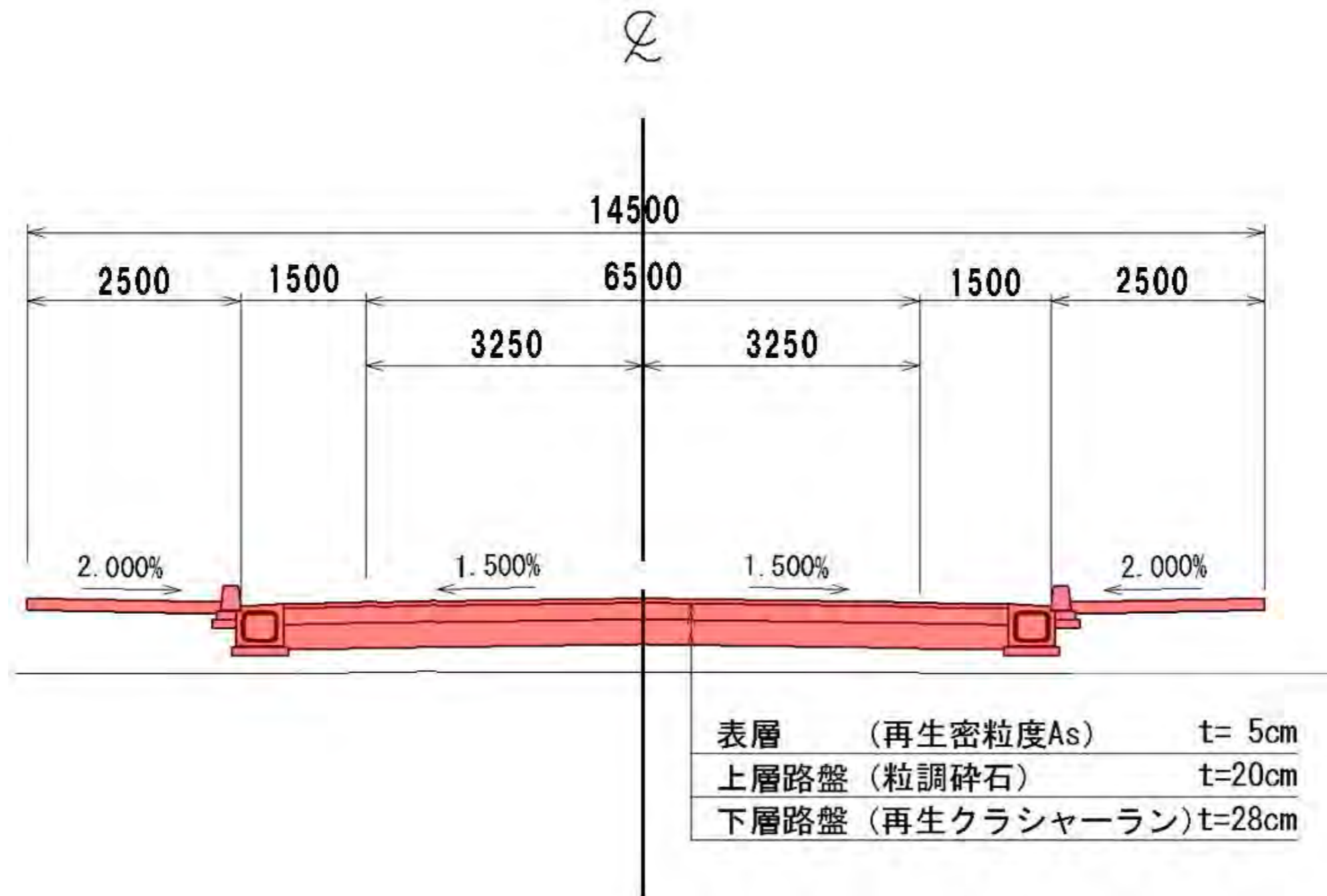
S = 1/2, 500

工事延長 L=590m 幅員 W=14.50m



③市道小久保岩瀬線設計図(標準断面図)

S = 1/100



■ 事業箇所

④大貫駅地下歩道設計図(平面図)

S = 1/2,000

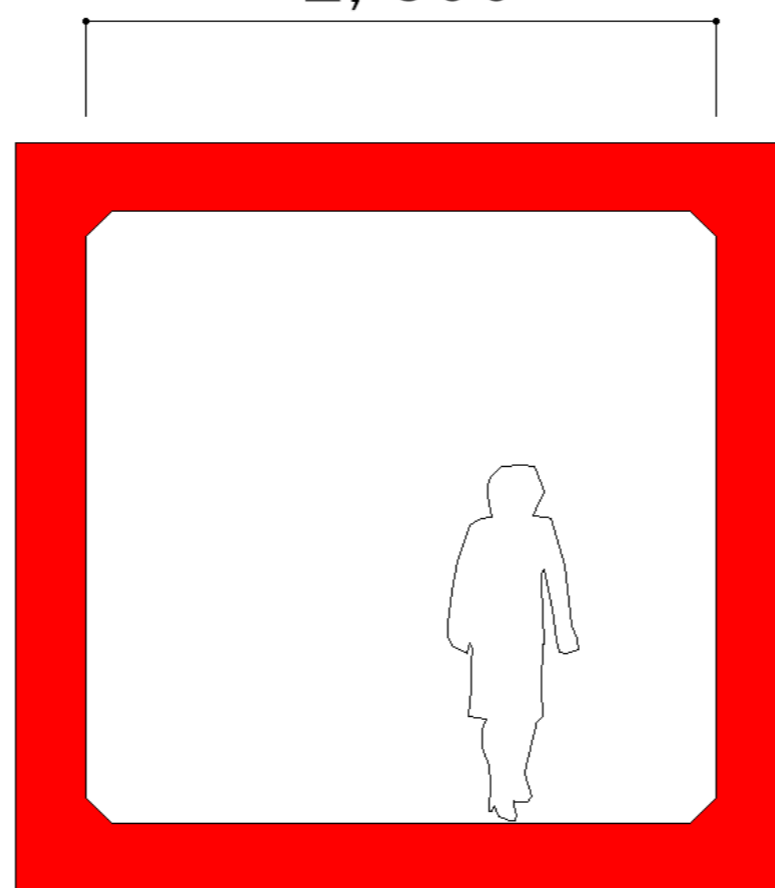



■ 事業箇所

④大貫駅地下歩道設計図(標準断面図)

S = 1/50

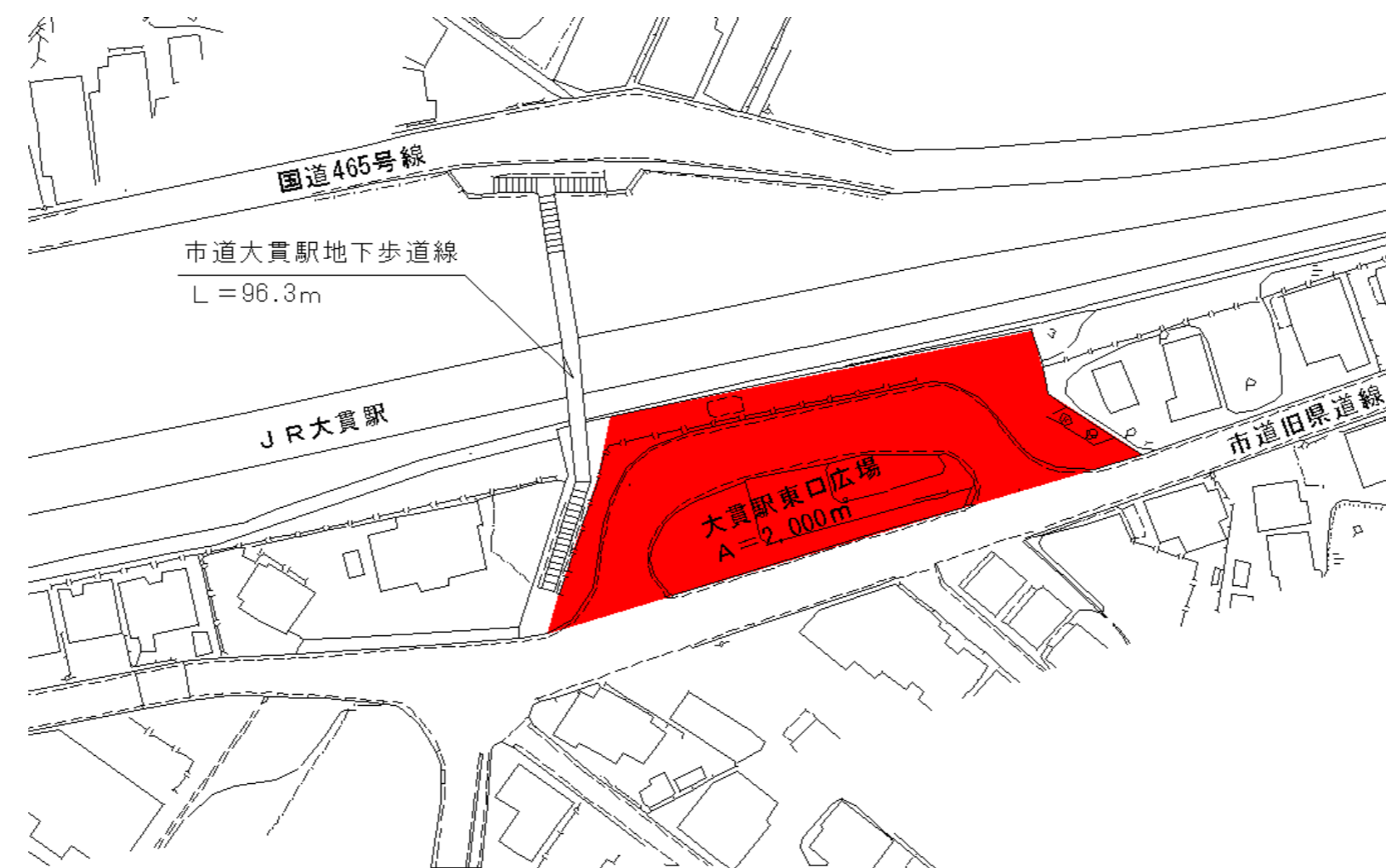
2,500



 事業箇所

⑤大貫駅東口駅前広場設計図(平面図)

S = 1/2,000



■ 事業箇所

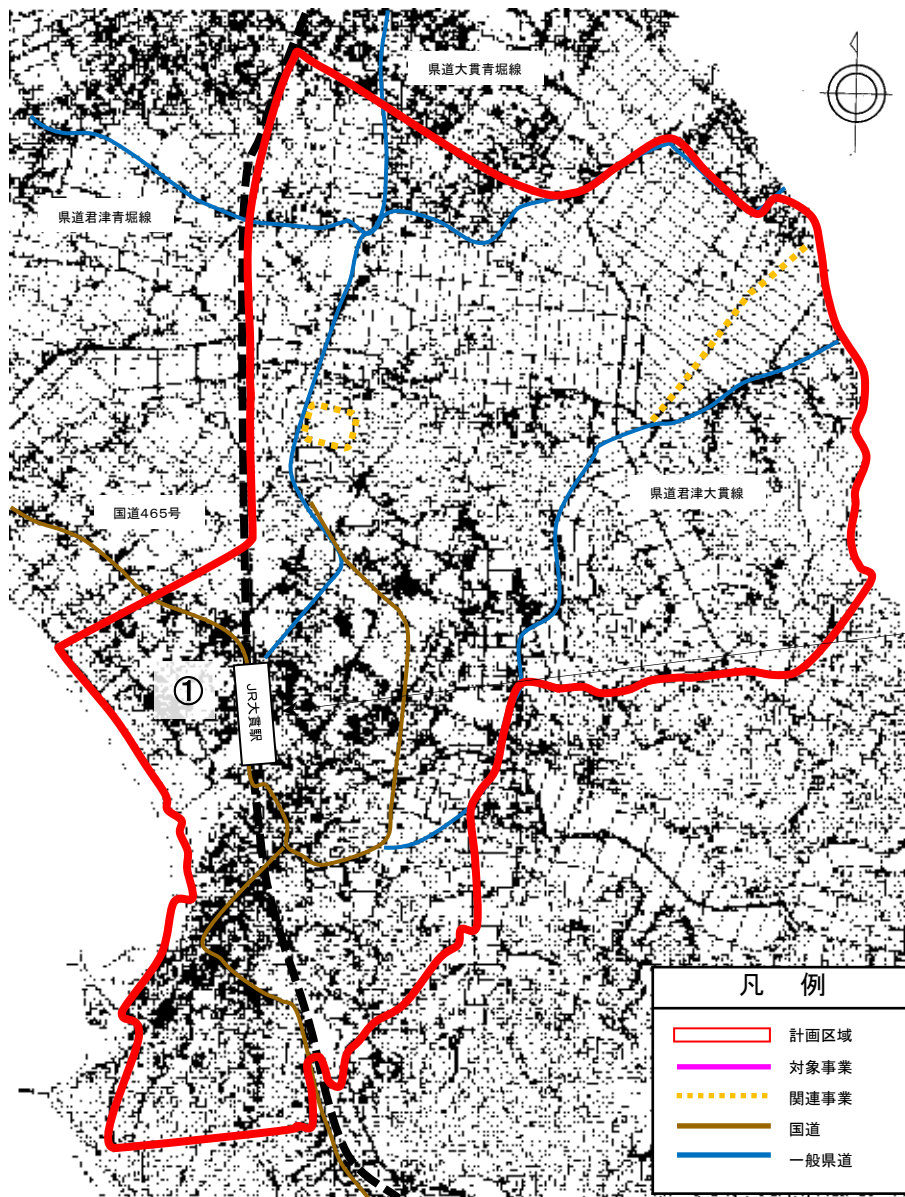
地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場								—	
駐車場									
自転車駐車場	大貫駅駐輪場	富津市	1,092㎡	38.2	1.7		36.5		
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤								—	
合計	—	—	—	38.2	1.7		36.5		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

地域生活基盤施設事業箇所図



地域生活基盤施設事業箇所
①大貫駅駐輪場

